

2019年7月26日

各 位

会 社 名 日本フォームサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山下 岳英
(コード番号 7869)
問合せ先 経営企画室長 山下 宗吾
(TEL03-3636-0011)

(訂正)「平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2014年8月8日に開示いたしました「平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2019年7月26日)付「過年度の四半期報告書等、四半期決算短信の訂正のお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 日本フォームサービス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7869 URL <http://www.forvice.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 岳英
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長代理 (氏名) 小坂 嘉彦 TEL 03-3636-0011
四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,624	△19.1	86	△13.1	120	△4.6	112	61.8
25年9月期第3四半期	3,245	47.5	99	65.2	126	39.5	69	60.7

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 114百万円(57.9%) 25年9月期第3四半期 72百万円(68.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年9月期第3四半期	28	26	—	—
25年9月期第3四半期	17	46	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	4,912	61.0	2,996	61.0	2,996	61.0
25年9月期	4,728	63.3	2,991	63.3	2,991	63.3

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 2,996百万円 25年9月期 2,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00	—
26年9月期	—	0.00	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,222	△0.5	181	12.6	211	3.7	120	5.4	30	11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名) フォービスリンク株式会社、除外 1社 (社名) —
 (注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年9月期3Q	4,020,000株	25年9月期	4,020,000株
26年9月期3Q	36,299株	25年9月期	34,692株
26年9月期3Q	3,984,568株	25年9月期3Q	3,985,308株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀の経済・金融政策等の推進により円安および株高の傾向が継続し、雇用環境の回復、積極的な設備投資の増大による企業収益の改善、個人消費においても回復傾向にて推移いたしました。一方、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による下振れリスク等により、依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの売上高は26億2千4百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益8千6百万円（前年同期比13.1%減）、経常利益は1億2千万円（前年同期比4.6%減）、四半期純利益は固定資産売却益を9千2百万円計上したこと、および法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を9千7百万円計上したことから、1億1千2百万円（前年同期比61.8%増）となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

当社グループの主力であります函物及び機械設備関連事業におきまして、19インチラック、アーム関連製品については客先要望に即したカスタム製品および高付加価値製品の市場投入により堅調に売上を確保することができております。一方、再生エネルギー関連製品の案件において第3四半期連結会計期間における売上は確保してはおりますが、工期が第4四半期以降にずれ込むこと等により、当初予定の売上高の確保にはいたりませんでした。その結果、売上高は21億4千6百万円（前年同期比21.7%減）となっております。

利益面につきましては、引き続き生産効率の向上や諸経費等のコスト削減に取り組んでまいりました。しかし、太陽光関連の設計・施工案件における売上高が予定通りに計上されていないものの、原価率のよいラック製品およびアーム関連製品を拡販することにより予定通りの売上総利益が確保できております。以上のことから、セグメント利益は1億7千万円（前年同期比21.8%増）となりました。

一方、介護関連事業におきましては、各介護事業者に対して法令遵守を徹底した経営が求められるとともに、介護福祉士等有資格者の人材確保が依然として困難な状況が続くなど、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループの在宅介護サービスにおきましては、訪問看護および居宅介護支援の稼働率が上がってはいるものの、通所介護、訪問介護および訪問入浴のサービスにおいて利用者が減少したことにより、売上高は3億4千7百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

また、地域密着型介護サービスにおける認知症対応型共同生活介護につきましては、居室稼働率および小規模多機能型居宅介護においても利用者数に大きな変動はありませんが、利用者単価が低下したことなどから、売上高は1億3千万円（前年同期比4.2%減）となりました。

以上の結果、介護関連事業（在宅介護サービス及び地域密着型介護サービス）における売上高は4億7千8百万円（前年同期比5.4%減）となりました。利益面に関しては、売上高の減少により売上総利益が確保できなかったこと、現サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規採用や設備投資を行った結果、セグメント利益（経常損失）は4千9百万円となり、前年同期比で3千6百万円悪化いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、49億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億8千3百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が3億2千3百万円増加したことに対し、有形固定資産が1億6百万円、たな卸資産が2千万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、19億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億7千7百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金が2千7百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億2千4百万円および長期借入金が2千3百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、29億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて5百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益（純資産の増加）1億1千2百万円および剰余金の配当（純資産の減少）が1千9百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月14日公表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、平成25年11月25日に設立したフォービスリンク株式会社（函物及び機械設備関連事業における電気工事業、当社の完全子会社）を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	239,380	563,050
受取手形及び売掛金	663,003	655,666
商品及び製品	25,113	47,990
仕掛品	45,091	31,657
原材料	161,216	130,972
繰延税金資産	20,874	25,393
その他	37,490	33,618
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	1,191,920	1,488,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	788,537	747,273
機械装置及び運搬具(純額)	177,506	194,948
土地	2,228,065	2,195,587
リース資産(純額)	197,558	158,466
その他(純額)	24,155	13,421
有形固定資産合計	3,415,823	3,309,696
無形固定資産	24,133	10,898
投資その他の資産		
投資有価証券	19,551	22,886
繰延税金資産	7,389	3,556
その他	69,724	77,089
投資その他の資産合計	96,665	103,532
固定資産合計	3,536,621	3,424,128
資産合計	4,728,542	4,912,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,826	166,143
短期借入金	629,000	620,020
1年内返済予定の長期借入金	84,360	209,160
リース債務	53,789	37,996
未払法人税等	34,348	78,494
賞与引当金	30,300	32,150
役員賞与引当金	4,200	—
その他	186,300	209,798
流動負債合計	1,161,124	1,353,763
固定負債		
長期借入金	254,799	278,529
リース債務	167,601	132,052
役員退職慰労引当金	127,158	103,903
繰延税金負債	—	3,527
長期未払金	25,022	42,025
その他	1,720	1,520
固定負債合計	576,301	561,557
負債合計	1,737,426	1,915,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,950	395,950
資本剰余金	230,000	230,000
利益剰余金	2,378,390	2,383,274
自己株式	△14,586	△15,130
株主資本合計	2,989,754	2,994,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	2,811
その他の包括利益累計額合計	1,361	2,811
純資産合計	2,991,116	2,996,905
負債純資産合計	4,728,542	4,912,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,245,994	2,624,979
売上原価	2,514,862	<u>1,882,301</u>
売上総利益	731,132	<u>742,678</u>
販売費及び一般管理費	631,365	<u>655,956</u>
営業利益	99,766	<u>86,722</u>
営業外収益		
受取利息	49	55
受取配当金	240	276
<u>固定資産賃貸料</u>	<u>—</u>	<u>2,399</u>
受取家賃	—	<u>1,909</u>
<u>作業くず売却益</u>	<u>—</u>	<u>7,362</u>
補助金収入	27,796	26,112
その他	17,061	<u>11,681</u>
営業外収益合計	45,146	49,797
営業外費用		
支払利息	13,527	11,855
支払手数料	1,901	2,220
手形売却損	2,419	1,600
その他	465	67
営業外費用合計	18,315	15,743
経常利益	126,597	<u>120,776</u>
特別利益		
固定資産売却益	100	92,342
国庫補助金	23,732	—
特別利益合計	23,832	92,342
特別損失		
固定資産除却損	81	2,009
固定資産圧縮損	23,522	—
<u>減損損失</u>	<u>—</u>	<u>1,127</u>
特別損失合計	23,604	<u>3,137</u>
税金等調整前四半期純利益	126,824	<u>209,981</u>
法人税、住民税及び事業税	67,190	95,320
法人税等調整額	Δ 9,960	2,039
法人税等合計	57,229	97,359
少数株主損益調整前四半期純利益	69,595	<u>112,622</u>
四半期純利益	69,595	<u>112,622</u>

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,595	<u>112,622</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,638	1,449
その他の包括利益合計	2,638	1,449
四半期包括利益	72,233	<u>114,071</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,233	<u>114,071</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,740,101	505,892	3,245,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,740,101	505,892	3,245,994
セグメント利益又は損失(△)	139,794	△13,197	126,597

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,146,318	478,660	2,624,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,146,318	478,660	2,624,979
セグメント利益又は損失(△)	<u>170,281</u>	△49,505	<u>120,776</u>

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。